

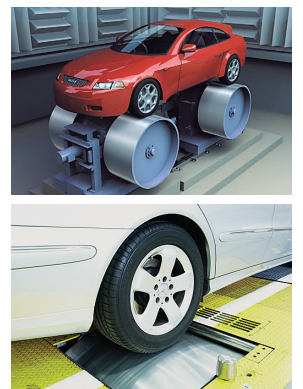


すべてのクルマは明電舎を通る。

MEIDEN Engineer's Note : No.5 自動車試験システム

自動車のカタログにのっている燃費や排出ガスの数値。それは、埼玉県にある独立行政法人交通安全環境研究所自動車試験場で、国が定める自動車型式指定制度に基づく審査を経たもの。実は明電舎が、その審査で使われている試験装置シャシダイナモメータをつくっています。異なる車種の自動車を、常に同じ条件で試験するために、路上ではなく、ローラの上を走らせます。重要なことは、実際に道路を走っている状況をローラの上でリア

ルに再現すること。それを可能にしているのが、明電舎の油圧浮揚技術と高速制御応答技術です。車体の重量や速度に応じた慣性力、走行抵抗など、路上を走行するときに刻々と変わるあらゆる状況を瞬時に再現します。1920年に日本初のダイナモメータを開発して以来、あらゆる審査機関や自動車メーカーで明電舎のダイナモメータが使われてきました。これからもたくさんの走る喜びを、ずっと支えていくために。ダイナモメータは、今日も回る。



もっと詳しく知りたくないカー？ | 明電舎 エンジニアズノート

検索

テクノロジーで、流れを変える。 株式会社 明電舎